

# 建設マネジメント技術【目次】

- 005 巻頭発言 2045年問題を見据えた担い手確保・育成方策  
／芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授 蟹澤 宏剛
- 
- 特集** 担い手の確保・育成, 魅力ある職場づくり
- 008 建設キャリアアップシステム (CCUS) の普及促進に向けて  
～「CCUS 利用拡大に向けた3か年計画」の推進～  
／国土交通省 大臣官房 参事官 (建設人材・資材) 付
- 013 物流革新に向けた政策パッケージの進捗状況と今後  
～2024年の「物流革新元年」を振り返る～  
／国土交通省 物流・自動車局 物流政策課
- 019 建設産業で働く女性の入職促進と定着に向けて  
／建設産業女性定着支援ネットワーク 幹事長 須田 久美子
- 026 「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン」及び  
「監理技術者制度運用マニュアル」の改正  
／国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課
- 033 令和5年度調査「適正な工期設定等による働き方改革の推進に関する  
調査」の結果  
／国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課
- 039 営繕事業における働き方改革の取組について  
／国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 計画課 計画調整係長 金辻 賢太郎
- 043 全国建設業協会 令和6年度「労働環境の整備に関するアンケート」  
／一般社団法人全国建設業協会 労働部 吉田 隼三
- 049 誰もが生涯現役を目指せる職場環境を  
／株式会社植松建設
- 055 建設業界の未来を担う新たな人材の機会創出と建設現場の働き方改革  
「e建機<sup>®</sup>チャレンジ」  
～Challenge for Revolution Get Ready for Remote World!～  
／一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 事務局長理事 鈴木 正秀
- 063 すごろくを用いた教育ツールによる港湾設計の魅力発信  
／株式会社日本港湾コンサルタント 東京支店 設計部 高橋 由衣

本誌掲載の記事を読み、学習することは「土木学会」、「建設コンサル  
タツ協会」のCPD教育制度の「自己学習」に該当します。単位の取  
得につきましては、申請する各団体により異なりますのでご確認下さい。



表紙写真

「門出」

撮影者：芝崎 静雄  
(愛媛県)

撮影場所  
愛媛県今治市伯方町

この写真は、一般社団法人建設広報協会主催、国土交通省後援、「豊かで住みよい国づくり」フォトコンテストの佳作作品です。

行政情報

070 自動物流道路の構築に向けた検討について

／国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室

ティールーム

077 音楽と街の演出

／SP ガード工法研究会 事務局 (株式会社吉田建設 技術管理部 課長) 杉田 楠巳

建設業界の動き

078 令和6年度 地方ブロック意見交換会について

／一般社団法人建設コンサルタント協会 企画部 次長 山中 直人

自治体の取り組み

085 JR 松山駅付近連続立体交差事業について

／愛媛県 土木部 道路都市局 都市整備課長 八木 裕紀

089 雪堆積場等車両集計システムの導入に伴う車両台数管理の効率化

／札幌市 建設局 土木部 雪対策室 事業課 雪施設係 中村 芳幸, 後藤 孝行, 森谷 亮太

日建連表彰 2024 第5回土木賞

096 JR 横須賀線武蔵小杉駅2面2線化他

告知

006 わくわく応援隊募集中！ 高専生のアイデアで未来を切り開くコンテストを応援しよう

098 性能保証型インフラアセットマネジメント -道路と道路橋のリスクマネジメント-

100 都市防災ハンドブック

102 身辺帳



品質で選べば—

# 朝日フェンス



WIRE NET & FENCE

**朝日スチール工業株式会社**

<http://www.asahi-fence.co.jp>

本社 香川県高松市花園町1丁目2番29号 TEL 087-833-5151

東京 03-3239-4815 大阪 06-6244-1910 九州 092-471-7621

名古屋 052-932-3500 仙台 022-263-1790

# 建設キャリアアップシステム (CCUS) の普及促進に向けて ～「CCUS 利用拡大に向けた3か年計画」の推進～

国土交通省 大臣官房 参事官 (建設人材・資材) 付

## 1. はじめに

建設業は、社会資本の整備・管理の担い手であるとともに、災害時における「地域の守り手」として国民生活や社会経済活動を支える極めて重要な役割を担っています。

一方、就労条件や他産業と比した賃金水準の低さなどを背景に就業者数の減少が続いており、建設業がその重要な役割を将来にわたって果たし続けられるようにするため、担い手の確保に向けた取組を強化することが急務となっています。

建設キャリアアップシステム（以下、「CCUS」という）は、建設技能者の資格や現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積し、それを活用することによって、技能と経験に応じた適切な処遇につなげようとするものであり、持続的な担い手の確保に向けて非常に重要な取組です。

CCUS の普及拡大に向けて、令和6年7月に「CCUS 利用拡大に向けた3か年計画」を公表したところであり、本稿では、本計画策定の背景や策定趣旨、計画に掲げる主な施策について解説します。

## 2. CCUS のねらい

他産業に比べて就業者の高齢化が進展する中、建設業が引き続き優良な社会資本整備・管理の担い手としての機能を担うためには、これまで以上に若年者に選択される環境を整備することが必要であり、建設業への若者の入職を進めるためには、将来的な処遇やキャリアパスを見えるかたちで示す必要があります。

一方で、建設技能者は異なる現場で経験を積み、また一人一人の能力が統一的に把握・評価される環境が存在せず、経験や技能の向上が処遇につながりにくい現状がありました。

こうした技能者の働き方の特徴を踏まえた上で、建設業を、一人一人の技能者が経験と技能に応じた処遇を受けられ、これから入職する若い世代がキャリアパスの見通しを持てる産業としていくために、業界全体で技能者の就業履歴を蓄積し、処遇改善につなげる仕組みとして、CCUS が整備されました。

CCUS の運用開始により、技能者は技能や経験に見合った適正な評価を受け、処遇へ反映されることが期待されるほか、建設業に再入職する際などに、自身の技能や経歴を簡易に証明することが可能となりました。